

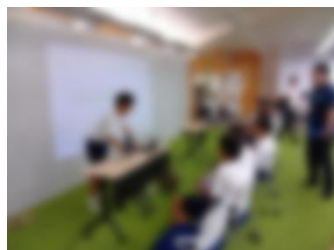
鳳凰祭 展示発表



帰国生徒学習会では、海外で生活した経験があるからこそ伝えられることを大切にしながら、鳳凰祭(文化祭)に向けて準備を進めてきました。今年度は「This is me ～海外の魅力との懸け橋に～」をスローガンに掲げ、それぞれが海外での生活を振り返り、現地の文化や習慣、そこで感じたことなどを自分たちの言葉で伝えることに取り組みました。

発表当日は、各国の文化をより分かりやすく、そして身近に感じてもらえるよう、プレゼンテーションソフトによる説明だけでなく、現地の衣装や実物なども活用しながら発表を行いました。海外での経験を生かした工夫が随所に見られ、聞く人を引き込む発表となりました。

在校生だけでなく、保護者の方々や地域の皆様の前でも、一人一人が堂々と自分の経験や思いを語る姿がとても印象的でした。海外での経験を「自分だけのもの」にするのではなく、周囲の人々に伝え、異なる文化をつなぐ架け橋となろうとする生徒たちの姿に、大きな成長を感じることができました。



～保護者の方より～

日本でもブーム! 本場・上海の麻辣湯

今、日本でも大流行中の「麻辣湯(マラータン)」。中国ではファストフードのように手軽に食べられる人気の料理です。上海にも多くのお店があり、スープの味や練りゴマの風味が店ごとに異なるため、友人たちとそれぞれお気に入りのお店を見つけて楽しんでいました。また、中国はデリバリー文化も盛んで注文からわずか20分ほどでアツアツが届くため、家族でもよく食べていました。人気店のすぐ隣にそっくりなお店ができるのも、中国らしい光景です。日本では現地のようなお手頃価格(500～600円ほど)とはいきませんが、麻(マー:花椒のしびれ)と辣(ラー:唐辛子の辛さ)がしっかり効いた、本場の味を日本でも探したいと思います。

3B・1B 保護者 様(上海)

現地校での日本文化紹介

アメリカの生活の中で私が夢中になっていたのが、「antiquing」と呼ばれるアンティークショップ巡りです。アメリカには驚くほどたくさんのショップがあり、日本ではあまり価値がなさそうに見える物でも、強気な値段で売られていることがあります。昔の家族写真やシミだらけの木箱、色のはげたオモチャ、さらには昔の差込便器まで並んでいました。私のお気に入り、今は生産されていない「Fire King」というミルクガラスの食器です。やわらかな色合いや、少しずつ違う風合いが素敵で、所狭しと並ぶ商品の中から自分のお気に入りを見つけるのは、まるで宝探しのようなものでした。古い物に宿る誰かの暮らしの気配を感じながら過ごす時間は、アメリカ生活の大切な楽しみの一つでした。

3C 保護者 様(アメリカ)